

高齢者・障害者のインターネットコミュニケーションを支援するマルチメディアインターフェース、システムの研究開発

高齢者・障害者のインターネットコミュニケーションを利用した社会形成の実現
【平成 11・12 年度助成事業】

研究開発事業の概要と背景

現在においてインターネットやメール等でのコミュニケーションは必要不可欠なアイテムツールとなっている。しかしながら、現状の技術は情報弱者にとって十分に意思を伝達できる仕組みとは言い難い。パソコンを使った事が無い者にとってはなかなかハードルが高いものになっている。

この研究は、文字や図形、音声等のデジタル情報の形を組み合わせる事により、意思を伝えるものである。

これにより、情報弱者にも教育や学習の機会が増し、娯楽やコミュニケーションが広がると思われる。つまり、情報技術の恩恵を受ける事が出来るという事である。

Fメールの開発

ビジネスの中で、相手に物事を伝える際には5W1Hにての報告が一般的である。

Fメールはこの表現形態を利用したものである。この文字の代わりにマルチメディア文字、つまり図形や音声を埋め込んで表現するというものである。

送信先の相手方には、これらの図形から翻訳し、文字として送信するものである。

マルチメディア文字を組み込んだ右の例を翻訳すると、「今日、コンサートホールで自分がピアノを弾く。家族が見に来てくれるので嬉しいです」となる。

微妙なニュアンスを出すために助詞の追加、音楽や効果音を添付する方法もとれる。

When (いつ)	Where (どこで)
Who (だれが)	What (なにを)
Why (なぜ)	How (どのように)

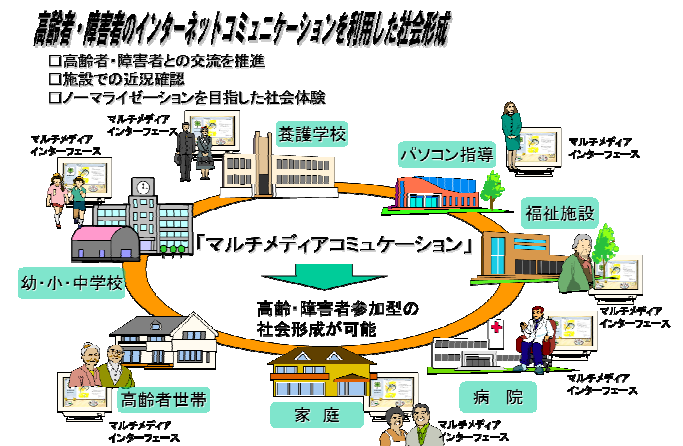
事業化の状況

プロトタイプとして養護学校等に配布し、使用して戴いた。更に、同様な研究をしているプロジェクトの中で意見・情報交換を行った。

専門家からは厳しい意見を頂戴する事も度々あった。しかし、多方面から多様な意見を戴く事で、徐々に完成度が高くなってきた。

こんな事で、研究が継続され、平成15年に「ふくしまユニバーサルデザインフェア教育部門優秀賞」を受賞している。

今後の展開



マルチメディア文字での自己表現の成果が見られながらも、新しいアーキテクチャーの登場により、増々コミュニケーションが拡げられる可能性が出てきている。

最適なものを取り入れながら、最終的に上図で表している「社会形成」を目指したい。

事業実施データ

株式会社エフコム(福島県)

特許: 特開 2003-084876

共同研究機関: 会津大学

福島県知的クラスター形成事業で研究継続。2003年に「ふくしまユニバーサルデザインフェア教育部門優秀賞」を受賞している。